

いよいよ、夏本番、黒埼まつりが8月17日大野町商店街、18日ふるさと村で行われます。さて私も黒埼町商工会青年部では、

一、創造力と行動力をいかし、地域振興発展の先駆者となる。

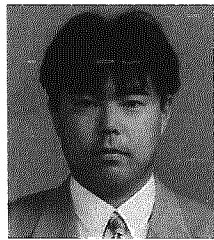
一、商工会の後継者であり、将来の中核として組織活性化の推進力となる。

一、社会一般の福祉の増進に努め、新しいまちづくりの原動力となる。

をモットーに活動しております。その中で地域振興事業の一環として、創設以来「黒埼まつり」のお手伝いをさせていただいております。そして、地域の将来を担う青少年の自主性と協調性を引き出し、また子供たちが愛を持つことのできる行事として、平成6年から「やかた竿燈」を行っております。昨年は皆様の暖かいご支援により「民謡流し」の休憩時間に6台の神輿の御披露をさせていただきました。「民謡流し」終了後も引き続き、神輿の一斉そろいもみを予想以上に盛大に行うことができました。子供神輿も「民謡流し」の前に行っておりますが、参加台数が少ないです。黒埼町の各地区で行われているお祭りに子供神輿をやっていく皆様にお願いがありません。黒埼町人口2万4千人の黒埼まつりにも参加して、盛大に盛り上がりましょう。それから、10年後、20年後、30年後になるかもしれません。黒埼町商工会青年部一同、心よりお待ちしております。

「まき夏まつり」に協力、参加していただいた皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。盛大に終了することができました。心より感謝いたします。

それでは、黒埼町の住民の皆様、年に一度の「黒埼まつり」8月17日にみんなで一日楽しく騒ぎましょう。黒埼町商工会青年部一同、心よりお待ちしております。



黒埼町商工会青年部長 諏訪町 近藤 一博

興「やかた竿燈」が発展して、現在、行われている大野の新田町から二之町までの区間を諏訪町、新町まで通行止めの間を伸ばしたり、もしかして、通行止めできるか、できないかも分かりませんが、参加人数、参加団体、参加台数が増えて国道8号も通行止めにするくらい盛大に発展して行くことを夢に見ながら、今後さらに大勢の住民の皆様がその存在を認めていただき昨年より今年、今年より来年と「やかた竿燈」という行事を一步づつ拡大し「黒埼まつり」の一部として末永く後世に伝承することで地域の一層の発展に寄与したいと考えております。

それから6月16日に行われた「まき夏まつり」に協力、参加していただいた皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。盛大に終了することができました。心より感謝いたします。

それでは、黒埼町の住民の皆様、年に一度の「黒埼まつり」8月17日にみんなで一日楽しく騒ぎましょう。黒埼町商工会青年部一同、心よりお待ちしております。



6月16日(月)に行われた「まき夏まつり協賛やかた竿燈」でみこしを担ぐ青年部員

# やかた竿燈に向はて

参加を希望される方は  
商工会青年部へ ☎ 377-3155

## 第1回黒埼まつり写真コンテスト作品募集

テーマ 8月17日・18日に行われる「黒埼まつり」  
規格 カラープリント2L程度  
表彰 優秀作品は、広報くろさき「やかた竿燈」のページにて発表  
締め切り 9月1日(月)  
送付・問い合わせ  
黒埼町商工会青年部 ☎ 377-3155  
〒950-11 黒埼町大野 2666-4

# スポーツと私

生涯スポーツ  
シリーズ No.7

## ラグビー

### スポーツを通して見る人生観

#### 「ラグビーが与えてくれたもの」

私とラグビーの出会いはいとも自慢できるものではない。中学時代野球部であったので当然ながら野球をやろうと思っていた。しかし、入学した高校は部活動が盛んであり、部員数100人を越えていた。そんなとき友人から「ラグビー部に入ろう」と誘われ、入部することになる。これがきっかけである。

ところが、そこでも部員数が90名と、非常に多かった。しかし、ラグビーは新潟県の中学校では行われておらず、高校で初めてやる者がほとんどを占めていた。ラグビーであればレギュラーになる可能性が高くなると思い、希望を持って挑んだ。

最初の頃、身長168cm、体重58kgやせがた体格であったためラグビーというスポーツから想像すると、自分に自信がなく、とても迷っていた。そこで、一つの出会いがある。高校時代の担任であり部長をしていた恩師である。今後いろいろな面で多大な影響を受けることになる。

こんな所から何気ない感じでラグビーにはまっていた。

高校2年生の時、全国大会、団体と出場する事ができた。ナイター設備があったため、毎日の練習は遅くまで続いた。どんなスポーツでも多かれ少なかれあることだが、上下の関係が厳しく、1年時の雑用、特に泥だらけになったボールを顔が写るくらいまでに磨き上げていた苦労が思い出に残る。

ラグビーを簡単に紹介すると、15人で行い、相手の陣地にボールを付けた方が得点をする(トライ、いたって単純なスポーツである。単純なだけにとても楽しく、奥が深いものである。相手陣に攻め込むには走る、パス、キックいろいろな戦法がある。中でも必ず起こる「コンタクトプレー」はラグビーの醍醐味であろう。相手に当たる、倒す、タックルなどはプレーヤーにとっても、観ている方にとっても爽快な感覚を与えるのではないか。こんなラグビーが私に与えて

くれたものは数しれずあるが、今の職業に就いているのもその一つである。高校時代の恩師という話をしたが、ラグビーと私を強く結びつけてくれた人物であり、また、ラグビーがそうさせていた感がある。その様な事により、迷い悩む高校時代の進路決定においては、自分の中で気持ち膨らみ、ある程度の指針ができた。

また、最大の恩恵はいろいろな人とのつながりであろう。現在、社会人クラブチームに所属しているが、その中の若い方から先輩の方までのつきあい、他のチームとの交流を通じてたくさんの人間関係を作る事ができた。出身地、職業何の関わりもない者同士が、ラグビーという一つのスポーツを通してできた「和」というものは、刺激的であり、一生大切にしなければならぬ宝物である。

残念ながらラグビー人口は減少しており、県大会の参加校数も年々下降の一途をたどっている。



善久西 菊川 茂

その原因の一つに中学校では行われていない事があげられる。ラグビースクールという形で、学校とは離れた部分ですで行っている所もあり、将来はそのような方向で力になりたい。難しい問題を含んでいるようだが、なんとかしたいものである。

新潟県は他県に比べスポーツ全般において、遅れているのではない。設備、資金などの面において、試合、合宿などで外に出る機会があると特に感じる。根本的な部分を改善しなければ、この差は開く一方である。

スポーツは人間形成になくてはならない、さまざまなものを与えてくれる。特に最近では薄れつつある人と人の関わりあい方については、考えることなしにいつの間にか出来るようになる。そんな中では普段味わえない楽しさがある。

「スポーツ(ラグビー)をやっているうちに、本当によかったなあ」と、つくづく思える今日この頃である。



スポーツ  
大会

◆第19回さつき展示競技会(6月7日・8日、農村環境改善センター) 町長賞・白井芳司 銘花の部 金賞・鷺尾末次、岡田治郎 銘木大型の部 金賞・小林巖、長谷川廣 銘木中型の部 金賞・佐野巖、上杉誠吉 銘木小型の部 金賞・丸山富美 益養若木の部 金賞・田中米雄 特別賞・渡辺九蔵

◆第5回黒埼町野球連盟会長杯少年野球大会(6月8日、町営野球場) Aブロック 優勝・立山A山田A Bブロック 優勝・大野

★少年サッカー教室参加者追加募集 日時 7月12日、8月9日、9月20日、10月25日、11月8日、11月29日の土曜日午前10時〜12時

会場 多目的広場(総合体育館前)

対象 町内在校で小学校4年生以上6年生までの健康な児童・生徒

参加費 年額1,000円(保険代等)

指導 新潟市サッカー協会会員 申し込み 総合体育館 ☎ 377-1521

★Kowa FCジュニアチーム員募集 日本サッカー協会第一種登録チームのKowa FC(コウワフットボールクラブ)ジュニアチームの選手を募集します。

練習 週1回 指導者 元アルビレオFCや国体出場者4人 申し込み・問い合わせ 総合体育館 ☎ 377-1521